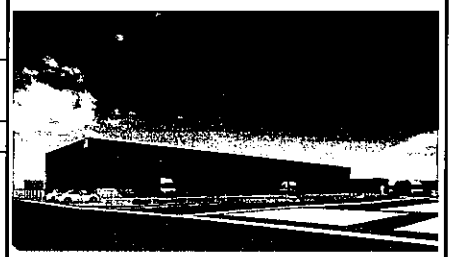


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	UDトラックス株式会社 京都カスタマーセンター 設計施工工事	階数	地上2F
建設地	京都府久世郡久御山町田井原東見17-1、17-2、18-1、18-2	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	25人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2017年4月24日
敷地面積	5,176㎡	作成者	丸運建設株式会社
建築面積	2,818㎡	確認日	-
延床面積	2,982㎡	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 91% ③上記+②以外の 91% ④上記+ 91%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 2.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>高度地区(五種)の規制範囲内で建物規模を確保しつつ、緑化の取組みも満たしています。またエネルギー消費効率の高いLED照明を全館に導入していきます。</p>		その他
<p>Q1 室内環境</p> <p>該当なし</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>道路境界から後退した建物配置とし、可能な限り敷地境界沿いに植栽をすることで、周辺環境に配慮した計画としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率が一般的な建物に対して91%ととし、地球温暖化への配慮をしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される